

運営管理内容

A パッケージブース 480USD/㎡(Min.12㎡)

- ①貴社名の展示会ガイドブック記載
- ②スペース
- ③出展者バッジ(数量限定)
- ④受付カウンター1台
- ⑤会議用丸テーブル1台
- ⑥椅子3脚
- ⑦スポットライト(100w)4個
- ⑧電源1ヶ所
- ⑨ゴミ箱1ヶ所
- ⑩カーペット



A パッケージブース (最小12㎡)

B 室内ロースペース 385USD/㎡(Min.36㎡)

- ①貴社名の展示会ガイドブック記載
- ②スペース
- ③出展者バッジ(数量限定)



B ロースペース(土地のみ) (最小36㎡)

C 屋外ロースペース 290USD/㎡(Min.50㎡)

- ①貴社名の展示会ガイドブック記載
- ②スペース
- ③出展者バッジ(数量限定)

※上記A.B.C小間費用にはインド消費税15%が別途掛かります。

日印国際産業振興協会 (NPO)

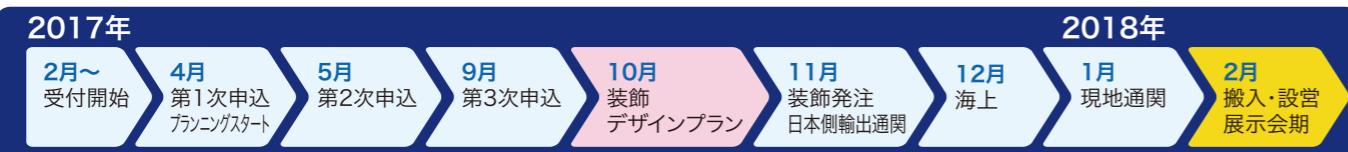
装飾

- 装飾業務
設計・施工・デザイン/レイアウト・企画運営進行管理・現場監督など
- その他の関連業務
 - 制作物業務
パンフレット・フライヤー・製品カタログ/パネルデザイン/運営進行管理
 - 映像業務
VJ・ビデオ製作・ナレーション/吹き替え・レイアウト企画運営進行管理
 - 運営関連業務
セミナー・ノベルティ・コンパニオン・通訳・ナレーター・レセプションアレンジ

輸送

- 日本からの一括輸送を致しますので、別途お見積りさせていただきます。
輸出通関申告費用/税関検査関係費用/税関出張費用/検査立会費用
船積み諸経費/保税上屋入出庫費/保税上屋運送費
コンテナ積み込み費/コンテナ維持費/海上運賃/船積書類
及び通関書類/輸入地費用/維持費/貨物上屋入出庫費
コンテナ引取費/会場内運搬費/開梱費用/据付補助費
空箱コンテナヤード運送費/その他現場運営管理費
- *復路は逆の手続き経路となります。抜打開梱になった場合、別途実費をご請求させていただきます。
- *展示会主催者の規定によりオフィシャルフォワードが指定されております。

進行スケジュール



出展申込書			年	月	日
貴社名(英文):					
ご住所(英文): 〒					
TEL:		FAX:		E-mail:	
ご出展物:					
パッケージブース (Min. 12㎡) 480 USD/㎡		室内ロースペース (Min. 36㎡) 385 USD/㎡		屋外ロースペース (Min. 50㎡) 290 USD/㎡	
A 1小間(12㎡) × 小間		B ㎡		C ㎡	
★上記の通り、第14回 インドオートエキスポ2018 に出展申込致します。					
責任者サイン:		ご氏名:		会社印	

申込期限 出展申込期限: 2017年9月29日(金)
 ※出展申込期限以降、空きスペースがある場合は申込み可能。
 ※前回出展企業様が優先となりますので早めの「仮申込み」をお願いします。

お早めにご相談ください。

主催者日本窓口

出展受付窓口

JiIPA 特定非営利活動法人 日印国際産業振興協会
 Japan India Industry Promotion Association (NPO)
 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2 新橋第一ビル本館2F D号
 TEL: 03-5733-5068 / FAX: 03-5733-5047 / info@npo-jiipa.org

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントグループ
 〒461-0001 愛知県名古屋市中区東2-21-28
 TEL 052-931-6158 / FAX 052-931-6159
 担当: 柳谷/市野

出展募集案内
インド最大級自動車部品展
第14回
インドオートエキスポ2018



部品展

2018年2月8日(木)～11日(日)
ニューデリー・プラガティマイダン

主催



CII 指定日本代表事務局: **JiIPA** 特定非営利活動法人 日印国際産業振興協会
 Japan India Industry Promotion Association



インド最大級自動車ショー 第14回インドオートエキスポ 2018



飛躍するインド経済

世界で一番大きな民主国家であるインドは人口12億人を抱え、その人口は現在も増加傾向にあり、中でも中産階級の台頭が目立っています。インドのGDPは、購買ベースで世界4位、為替レートベースでは世界10位にランキングされており、急成長を続けています。2015年度の経済成長率は、7.6%となり10年後には中国を抜く勢いがあります。

高まるインド政府の自動車部品業界への期待

インド政府は、インド自動車産業界の高い潜在性を認識し最も期待する成長産業として位置づけています。インド自動車業界の今後の展望に関する立案を作成するに当たり、インド自動車部品工業会 (ACMA) とインド自動車工業会 (SIAM) と密接な協力体制を組み活動しています。インド自動車工業会 (SIAM) の発表によると、2016年までに自動車業界がGDP10%の成長率と製造部門の30～35%を占め、自動車部門がインドのGDPの10%に及び大きな役割を果たすと予測されています。自動車業界全体は現在350億ドルで、今後1450億ドルに、また自動車輸出(車両・部品)は現在の40億ドルから350億ドルに成長すると予測されており、さらに自動車業界は2016年までにさらに2500万人の雇用を創出すると予測されています。

Auto Expo 2018とは

飛躍を続けるインドマーケットにて、2018年2月に第14回AUTO EXPOが開催されます。International Engineering & Technology Fair (IETF) の主催として知られ、インドでもっとも権威のある団体、Confederation of Indian Industry と自動車業界の2トップとして知られる Automotive Component Manufacturers Association of India と Society of Indian Automobile Manufacturers が主催となり開催されます。出展分野では、自動車、部品、アクセサリ、試験機器/計測機械、カーセキュリティ、環境プロダクト、生産技術と細分化し、且つそれぞれに焦点を絞った展示となっており、デトロイト、シカゴ、フランクフルト、ミラノ、上海、ソウル、東京にて催される世界的なモーターショーに並び、インド最大の展示会となっております。この機会にAUTO EXPO2018へのご出展を是非ご検討ください。

インド地域別主要振興産業

- 北 部 自動車産業、工作機械産業(デリー・ムンバイ間)産業大動脈構想 (Deli-Mumbai Industrial Corridor: DMIC) により工業団地の整備が進む重要地域
- 中西部 印刷機械、工作機械産業
- 南 部 建設機械、自動車、航空機、工作機械(製造拠点として)

デリー・ムンバイ間産業大動脈構想

日本の経済産業省が中心となり、日印の共同事業として立ち上がった「デリー・ムンバイ間産業大動脈構想(DMIC: Delhi-Mumbai Industrial Corridor Project)」は、デリーとムンバイの間(約1500km)に、貨物専用鉄道(円借款4500億円)を敷設。その周辺に、工業団地、物流基地、発電所、道路、港湾、住居、商業施設などのインフラを民間投資主体で整備し、一大産業地域を形成しようとする、インドで最も注目されているプロジェクトの一つ。



インド自動車会社分布

インド国内でOEM生産体制下にあるインド及びグローバル企業一覧

北部	西部
Eicher Escorts Hero Moto Corp ホンダモーターサイクル ホンダシエルカース ICML JCB マルチ スズキ New Holland Mahindra スズキモーターサイクル Swaraj Mazda Tata Motors ヤマハ	Bajaj Auto Fiat Force Motors GM John Deere Mahindra Mahindra Navistar Man Force Mercedes Benz Skoda タタ日立 Tata Motors Volkswagen Volvo Eicher
南部	
Ashok Leyland BMW Caterpillar Daimler Ford Hindustan Motors Hyundai 日産	Renault Royal enfield Same Deultz TAFE Tata Motors トヨタ キルロスカ TVS Volvo Buses
東部	
Hindustan Motors Tata Motors	



展示会開催概要

- 展示会名称:
AUTO EXPO 2018/第14回インドオートエキスポ2018
- 開催期間: ◎部 品 展
2018年2月8日(木)~11日(日) (10:00 - 18:00)
- 展示会場: ◎部 品 展:
PRAGATI MAIDAN (ニューデリー・プラガティマイダン)
- 展示会場規模: 約120,000㎡
- 出展社数: 約1700社(2016年実績)
- 来場者数: 約1,120,000人(2016年実績)
- 入場対象: 自動車関連業界・一般



出展対象物

自動車関連
*乗用車 *トラック *商用車 *特殊車両
電装品・電子部品・計器類
*電装品 *プラグ、ランプ、電池類 *ホーン、ブザー、スイッチ *配線・ヒューズ *電装部品全て
部品類
●エンジン・メカニカルシステム *ピストン、リング、ライナー *バルブ、フィルタ、メタル *酸化器、ラジエータ *オイルシール、エレメント *クリーナ *ガスケット、ベアリング *ガラス、ウインドウ *シャフト ●ギアボックス、トランスミッション、アクセル、ステアリング、ブレーキシステム、ブレーキパッド *ABS制御、TRC制御、VSC制御 *ドアロック制御、SRSエアバッグ *サスペンション・車体部品(内装・外装) ●制御装置 ●補修部品 ●リサイクルパーツ
排気系
*エグゾーストシステム *マフラー *フィルター *その他関連品
タイヤ
*車用タイヤ *バイク用タイヤ *再生タイヤ
自動車装飾/カーアクセサリ
*インテリア装飾 *エアコンディショニングシステム *光ファイバー *ワイヤーハーネス *電話システム *レーダー *チャイルド用品 *ライト・電球 *チューニング *ワイパー *バッテリー

インド自動車部品工業会 (ACMA)

～インド自動車部品工業会 (ACMA) はインド自動車部品業界の接点を司る仲介者～
同工業会はトレード・プロモーション、技術レベルの向上、品質強化、情報収集と普及に積極的に参加することにより、業界の発展のために重要な触媒になっています。その他の活動としては、国際展示会への参加、代表団の海外派遣、自動車業界に関連する様々なテーマに関する出版物の刊行などを行っています。また、インド政府の多数の部門、委員会、審議会のメンバーを務め、インド自動車業界に関連する政策策定に密接に関与しています。インド自動車部品工業会 (ACMA) に加盟している企業は525社を超える程であり、同工業会総メンバーは業界の給自動車部品生産高の90%を占めています。国内市場では部品純正部品として自動車メーカーに提供していますが、それ以外にもTier1や国家の輸送事業、防衛機関、鉄道、そして買い替え市場にも提供しています。このように、多様な部品が世界各国のOEM市場やアフターマーケットに輸出されています。インド自動車部品工業会 (ACMA) は自動車部品産業界とは切っても切れない関係にあり、従ってそこで形成されたチャンネルを通してインド自動車業界との取引関係が生まれています。

日印合作カンファレンス&交流会 (予定)

- カンファレンス
コールフォーペーパー
募集
- 主催: CII / ACMA / SIAM
 - ビジター: (インドから) CII / ACMA / SIAMメンバー他
(日本から) 自動車メーカー/部品メーカー/計測・試験機器メーカー/アフターパーツメーカー/アクセサリメーカー/商社/工業会他
 - 交流会参加者: CII / ACMA / SIAM
 - プログラム内容
 - ◎プログラム例(スピーカー:日本側/オーディエンス:インド側)
 1. 自動車部品部門 「製造工程管理、品質管理」
 2. 計測機械、試験機器部門 「製造工程による計測/試験技術に伴う、製品の向上その他全般」
 3. 安全・環境
 - その他テーマを募集しておりますので、お気軽に日本事務局までお問い合わせください。

メンテナンス商品(カーケア)
*研磨剤 *接着剤 *ワックス *クリーナー *強化剤・保護剤 *芳香剤 *ホイール *ペイントレスデントリペア・内装リペア *タッチペイント *ウインドーリペア・カーフィルム *ボディーコーティング・ルーフクリーニング *洗車システム・資材 *その他
オーディオ
*カーナビゲーション *カーオーディオ *チューナー *エコーライザー *スピーカー *アクセサリ *通信システム
カー・セキュリティ
*カーアラーム *リモートセントラルパワーロック *キーレスエントリー *ODMマニファクチャラー *ユニバーサルランスミッター *盗難警報機 *キーレスエントリー *GSMアラームペイジャーモジュール *パーキングセンサー *ドア集中ロックシステム *作動装置用ワイヤー *タイヤ空気圧監視システム *リモートスタイル *ウインドウクロージャー
情報機器・ソフト
●システム *生産シミュレーター *製造監視システム *生産計画システム *行程監視システム *CAD *CAM *CAE *スーパーコンピュータ *その他

材 料
*鉄鋼・特殊鋼 *鉄・ステンレス *アルミニウム・マグネシウム *プラスチック・ゴム・エラストマー *繊維 *セラミックス *燃料・潤滑油 *接着剤 *塗料 *燃料経済性、燃費 *新素材 *ガラス *その他
環境プロダクト
*エコカー *イリジウムプラグ *エコオイル関連 *オイル処理剤 *オイル吸収シート *低燃費システム *燃料電池 *軽量部品 *ハイブリッド技術 *再充電可能電池 *水性塗料/低VOC塗料 *リサイクル関連 *太陽光発電システム *水素システム *環境保全対策技術
試験機器/計測機械関連
●試験計測機器 *排気ガス計測・分析装置 *振動騒音・解析装置 *圧力・流量・温度測定装置 *エンジン燃焼計測・解析装置 *保守・整備測定装置 *非破壊検査システム *強度テスト検査システム ●動的試験装置/衝突試験 ●製造検査機器 ●電子制御装置 ●ナビゲーション/エンターテインメント試験機器 ●燃料試験機 ●データ収集